

平成 29 年度 事業報告

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

I 概況

公益社団法人若松法人会は、『健全な納税者の団体』であると同時に『よき経営者をめざすものの団体』との法人会の基本的指針の下、税知識の普及、納税意識の高揚、税制及び税務に関する調査研究並びに提言、地域企業の健全な発展に資するための施策を実施するとともに、地域社会に貢献する活動を積極的に取り組み、公益法人としての使命を達成するよう努めてまいりました。

平成 29 年度は、次の事業を会員に開催案内等を郵送するほか広報誌（配布、備付）、ホームページ、チラシ等を通じて広く一般に周知して実施した。

II 実施した事業

1 税知識の普及を目的とする事業（公 1）

(1) 新設法人説明会

平成 29 年 9 月 13 日若松税務署会議室において若松税務署から講師を招き新設法人説明会を開催した。

(2) 決算法人説明会

法人税・消費税の適正な申告が行われることを目的として若松税務署管内の全法人を対象に税制改正事項等決算手続きに関する留意点等についての説明会を年 4 回実施した。

(3) 租税教室

租税教育推進の観点から若松税務署管内の小学校 6 年生を対象に「税」の意義、役割などについて考える機会を作り、「税」に関心を持ってもらうことを目的に 8 校で開催した。

(4) 青年のつどい「高知大会」

平成 29 年 11 月 10 日に高知市で開催された「第 31 回全国青年の集い高知大会」へ当会青年部会員 5 名が参加し、優秀な租税教室活動を学ぶとともに全国の青年部会員と情報交換する事により、青年部活動のレベルアップを図った。

(5) 広報事業

若松税務署管内の法人又は市民を対象に税知識の普及を図る事を目的に税に関する広報事業を行った。

- ・ FM ラジオで「明日への扉」を放送
平成 29 年 4 月から毎月第二火曜日に地元 FM ラジオ局「エアステーション HIBIKI【88.2MHz】」（11 時～12 時）に会員が生出演し、地元企業の情報や話題を盛り込み、若松法人会活動の紹介し、「若松法人会」の活動を印象付けた。
- ・ 会報誌「法人会だより」の作成・配布と公共施設への備置き
- ・ 広報誌「ほうじん」(全法連発行)の配布
- ・ 広報誌「川艦(かわひらた)」(若松税推協発行)の配布
- ・ 広告塔の設置と維持管理
- ・ 新聞広告掲載による確定申告 P R の実施



北九州地区 5 法人会（小倉、八幡、若松、門司、行橋）共同で確定申告に関する新聞広告を平成 30 年 2 月 15 日（木）毎日・読売・朝日新聞朝刊の北九州・京築版に掲載して、申告期間及び e-Tax の周知を行った。

(6) 税理士会・間税会・法人会合同研修会

平成 29 年 11 月 16 日（木）若松税務署会議室において、若松税務署八代達哉署長を講師に迎え、税理士会・間税会・法人会合同で「相続税について」と題して最近の相続税と贈与税の現状について研修会を実施した。



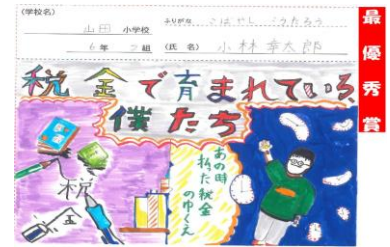
2 納税意識の高揚を目的とする事業（公 1）

(1) 税金クイズ

税を身近なものに感じてもらう機会を提供するとともに税の大切さを理解することで、納税意識の高揚を図る事を目的に「夏の夕べ」、「バス研修会」において税金クイズを実施した。

(2) 税に関する絵はがきコンクールの実施

租税教室を実施した小学校 6 年生の児童を対象に「税」に対する関心を高め、「税」の大切さを理解してもらうことを目的に「税」に関する絵はがきを募集した結果、300 枚の応募があり、平成 30 年 2 月 7 日（水）女性部会で優秀作品を選定した。



(3) 税の作文表彰

納税貯蓄組合と共催し、管内の全中学校の生徒を対象に「税」に関する作文を募集し、優秀作品を表彰した。



3 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業（公 1）

(1) 税制に関するアンケート調査

当会の税制委員を中心とした 25 名の皆様にアンケート調査を行い、若松法人会としての税制改正要望の取りまとめを行い、県連へ送付した。

(2) 税制改正の提言・要望活動

11 月 1 日及び 2 日北九州地区 5 法人会が共同し、北九州市長及び市議会議長に「30 年度税制改正に関する提言」（全法連作成）を提出した。

平成 30 年税制改正スローガン

- ① 厳しい財政状況を踏まえ、国・地方とも行財政改革の徹底を！
- ② 超高齢化社会に対応した社会保障制度を構築するため、適正な負担と大胆な受益の抑制を！
- ③ 地域経済と雇用の担い手である中小企業に、税制措置でさらなる活力を！
- ④ 中小企業は地域経済の要。本格的な事業承継税制の創設により事業の継続を！

4 地域企業の健全な発展に資する事業（公 2）

(1) リスクマネジメントセミナー

6 月 15 日（木）北九州地区 5 法人会主催によるリスクマネジメントセミナーを開催した。

場所：ウェルとばた 12 階 会議室

演題：「被災後の対処と事業継続計画（BCP）策定のポイント」

(2) 新春講演会

地域企業の健全な発展を目的に管内企業を対象に北九州商工会議所と共催事業としてドゥ・サクセス有限会社代表取締役藤谷健氏をお招きして「落語の技から学ぶトークのコツ!!」と題して講演会を実施した。

日時：平成 30 年 1 月 19 日（金）14:30～16:00

場所：福岡ひびき信用金庫 若松支店別館 3 階

- (3) 北九州地区 5 法人会共催「合同講演会」
平成 30 年 2 月 21 日(水)17 時から北九州地区 5 法人会が共催で地域事業の健全な発展を通じて豊かな地域社会を実現することを目的とし、会員以外にも広く市民の皆さんが参加する講演会を開催した。



場所：ステーションホテル小倉

講師：森永卓郎氏(経済アナリスト・獨協大学経済学部教授)

演題：『変化の時代の企業経営』

- (4) 優良企業視察・調査研修会(バス研修会)

会員及び一般市民の教養を高めることを目的に佐賀県神埼市の「ヤクルト佐賀工場」を視察し、最新工場の設備や衛生管理の実態について理解を深めた。

- (5) 記念講演会

第 5 回定時総会終了後、会員及び一般市民を対象に読売テレビ報道局解説委員長春川正明氏を講師に迎え「どうなるこれからの政治・経済」を演題として記念講演会を実施した。



5 地域社会への貢献を目的とする事業(公3)

- (1) 地元祭り支援うちわ寄贈(若松みなとまつり)

地域町づくり活性化のイベント「若松みなとまつり」を支援するため、北九州地区共同で団扇を作成し、会場で一般市民に配布し、まつり活性化を応援し、祭り協賛金の支援を行った。

- (2) 「国際車椅子バスケットボール大会」応援

北九州市開催の「国際車椅子バスケットボール大会」において出場選手の応援活動を実施した。

- (3) 地域授産施設等の学園祭支援(ひびき学園)

「社会福祉法人ひびき学園」の学園祭支援活動として軽食の炊き出し等の支援活動を実施し、収益相当分を学園に寄贈した。



- (4) 図書寄贈

チャリティー事業で得た資金で

岡垣町(平成 29 年 12 月 27 日)、水巻町(平成 30 年 1 月 5 日)、

芦屋町(平成 30 年 1 月 22 日)の各図書館に書籍を寄贈した。

- (5) 地域イベントへの参加

地域活性化イベントである「中間やっちゃれ祭り」の支援を行うとともに水巻町商工会と共催して二宮金次郎(尊徳)より七代目の子孫である中桐万里子氏を招き水巻町中央公民館で新春講演会を開催した。

- (6) 使用電力の節減に対する取組(いちごプロジェクト)

女性部会を中心として、「夏のタベ」で節電を呼びかける団扇の配布を行った。



- (7) 献血活動

支部事業として、福岡県赤十字血液センターに協力し、広く一般市民に呼び掛けて、献血活動を実施した。

(若松 3、芦屋、遠賀)

- (8) 災害に関する被災者・災害復興支援活動

災害に関する被災者・災害復興支援を目的として、「夏のタベ」でのチャリティー物販、チャリティーゴルフ、災害復興支援チャリティーショーで募った寄金を、図書寄贈及び熊本地震災害義援金として寄付した。



6 会員の福利厚生のための事業(収益・その他)

(1) 簡易生命保険団体保険料払込制度の集金業務

団体扱いによる保険料の割引制度を利用し、会員である法人企業に働く者の福利厚生に寄与する為に簡易保険の集金事務を代行している。

(2) 貸倒保証制度の普及推進

会員である法人企業の経営の安定化のため、契約時に選定した取引先に債務不履行が生じた場合に、予め約定した保険条件にしたがって保険金が支払われる貸倒保証制度の普及推進のため、ホームページで紹介活動を行った。

7 会員の交流を図るための事業（その他）

(1) 「夏の夕べ」

管内の企業及び一般市民を対象に、社会貢献、税の研修、参加者相互の交流を目的に実施した。

また、災害支援イベントとして「チャリティー物販」、納税意識の高揚のため「税金クイズ」等を実施した



(2) チャリティーゴルフ大会

10月18日会員の交流と親睦を図るチャリティーゴルフ大会を開催し、募った寄金を図書として寄贈した。(岡垣町、水巻町、芦屋町の各図書館)



11月2日青連協ゴルフ大会に青年部から4名参加し、昨年引き続き団体優勝しました。

(3) 経営者大型総合保障制度の普及推進

会員である法人企業の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として

経営者や従業員の病気や事故による死亡、高度障害、入院等について保障する経営者大型総合保障制度の推進を図った。



(4) ビジネスガードの普及推進

会員である法人企業の災害・賠償責任に備えるビジネスガードの普及推進を図った。



(5) がん保険制度の普及推進

会員である法人企業の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的としてがん保険の普及推進を図った。

(6) 会員増強事業

組織の健全な維持と財政基盤の充実を図るため、支部会を開催し、会員の増強に取り組んだ。(組織拡大月間 10月~12月)

8 その他この法人の目的達成に必要な事業（その他）

全法連、県連、他単位会及び関係団体等が主催する諸事業へ積極的に参加し、研鑽や情報交換等を行った。

また、あらゆる機会をとらえて公益社団法人としての認知度の向上を図るとともに会員の拡大と財政基盤の確立に努めた。